

新計画に記載する施策・主な取組（案）について（関連部分のみ）

優先的に取り組む事項

○ はぐくみ文化を推進するネットワーク機能の強化

1 子どもや若者を「社会の宝」として、社会全体ではぐくむ風土の醸成

【現状・課題・今後の方向性】

京都市では、「京都市はぐくみ憲章」の理念の下、市民や関係団体等が主体となり、子どもを地域の宝として大切に育む「はぐくみ文化」が醸成されてきました。

一方で、子どもや若者、その家庭が抱える課題やニーズはこれまで以上に多様化しており、それらを取り巻く社会環境においても、少子化の進行による人手不足、外国籍市民の増加や性差に関する意識の変容による多様性の尊重など、様々な変化が見られており、「はぐくみ文化」の更なる深化が求められます。

このため、各種啓発や多文化共生の取組などを通じ、市民生活や地域コミュニティとの調和を図り、誰もが暮らしやすい社会を実現していきます。

【主な取組】

- ・ 「京都市はぐくみ憲章」の啓発・実践推進
- ・ 京都市外国籍市民総合相談窓口を拠点とした外国籍の子ども・若者や子育て家庭への支援

2 市民ぐるみ、地域ぐるみで子ども・若者とその家庭を支援するネットワーク機能の更なる推進

【現状・課題・今後の方向性】

京都市では全市レベル、行政区レベル・身近な地域レベルの3層からなるネットワークを構築し、市民と行政が一体となって子ども・若者を支援してきました。

子ども・若者を支援するあらゆる関係機関・団体、学校、企業、市民、行政が手と手を取り合い、ネットワークの連携をより一層強化していくことにより、子ども・若者とその家庭を支援する取組を社会全体で引き続き推進していきます。

【主な取組】

- ・ 区役所・支所の機能強化
(子育て支援コンシェルジュ機能の更なる活用等)
- ・ 学校運営協議会の設置拡大と取組の充実
- ・ 地域ぐるみによる地域の見守り活動や、子どもの通学路や移動路等の安心・安全の確保

○ 真のワーク・ライフ・バランスの更なる促進

1 京都ならではの文化に触れ、地域行事に参加するなど、家族や子ども、地域との時間を大切にできる「ゆとりのある環境づくり」の促進

【現状・課題・今後の方向性】

京都市では、仕事と家庭生活の調和に加え、地域活動などに積極的に参加することで、誰もが生きがいと充実感を持って、心豊かな人生を送ることができる「真のワーク・ライフ・バランス」を推進してきました。

地域からの孤立防止にもつながる地域活動や社会貢献活動のほか、京都の強みである文化・芸術に触れることは子ども・若者の豊かな感性や人間性を育むことも期待できるため、これらに触れ、参加する機会を積極的に創出します。

【主な取組】

- ・ 京都ならではの伝統文化教育など、「ほんもの」の文化・芸術に触れる機会の創出
- ・ 子育て支援施設における文化芸術・社会体験事業の実施
- ・ 若者の市政や地域コミュニティへの参加機会の提供

2 企業や職場ぐるみで、生活や子育てと仕事が相互に高めあう「働き方改革」を推進

【現状・課題・今後の方向性】

子ども・若者の生き方の手本となるべき大人が、家庭で、地域で、職場で生き生きと輝くことができる社会を創ることが重要です。このため、他方で安定した生活の基盤となる経済的利益を犠牲としないように生産性の向上も併せて行いながら、「働き方改革」を推進してきました。

家庭生活や仕事を単なる手段ではなく、各人の生き方に関わることとして捉えたうえで、両者がともに豊かなものとなるよう「職場」、「家庭」、「地域や社会」、それぞれの場において意識変革を促すことはもとより、柔軟な働き方が実現できる労働環境の整備など、「働き方改革」の取組を「自分ごと」「みんなごと」として実践していきます。

【主な取組】

- (・ 京都はぐくみ・働き方改革推進宣言の普及啓発)
- ・ 「働き方改革」に取り組む企業等の先進事例の収集及び波及・浸透
- ・ 子育て支援施設の働き方改革の推進
- ・ 地域・保護者と共に進める学校・幼稚園の働き方改革
- ・ 「真のワーク・ライフ・バランス」実践のための情報発信の充実

施策の体系（各論）

第3章 子ども・若者とその家庭をみんなで支え・育む社会

【現状・課題・今後の方向性】

京都市ならではの市民力、地域力、文化力を礎として、市民が主体となり、子どもたちを取り巻く今日的課題の共有や、各団体との連携を通じ、「京都市はぐくみ憲章」の理念を地域に浸透させる取組を実践するなど、子どもを地域の宝として大切に育む「はぐくみ文化」を発展させる取組を進めてきました。

子ども・若者を支援する関係機関・団体、学校、企業、市民、行政によるネットワークをより一層緊密なものとし、子ども・若者とその家庭を支援する取組を社会全体で引き続き推進していきます。

○ 次代を担う子ども・若者をはぐくむ地域共生社会の推進

高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場において支え合いの基盤が弱まっている中で、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて、今後、増加が予想される外国籍市民も含め、市民生活や地域コミュニティとの調和を図り、誰もが暮らしやすい社会を実現していきます。

【主な取組】

- ・ 「京都市はぐくみ憲章」の啓発・実践推進
- ・ 京都市はぐくみネットワークによる地域に根差した活動の一層の推進
- ・ 児童福祉センターやこどもみらい館等の中核施設の連携強化及び機能強化
- ・ 区役所・支所の機能強化（子育て支援コンシェルジュ機能の更なる活用等）
- ・ 地域で支える～すくすく子育て応援事業の充実
- ・ 青少年活動センターにおける地域交流事業の推進
- ・ 地域に開かれた施設運営の一層の推進（幼稚園、保育園、認定こども園等）
- ・ 身近な地域の子育て支援施設の連携強化（地域子育て支援ステーション事業）
- ・ 学校運営協議会の設置拡大と取組の充実
- ・ PTA、おやじの会による子どもの健全育成のためのイベントや研修会の実施
- ・ 地域ぐるみによる地域の見守り活動や、子どもの通学路や移動路等の安心・安全の確保
- ・ 文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業
- ・ 京都市外国籍市民総合相談窓口を拠点とした外国籍の子ども・若者や子育て家庭への支援
- ・ 学校における多文化共生に向けた取組の推進（日本語指導等）

○ 「真のワーク・ライフ・バランス」の促進

- (1) 京都ならではの市民力、地域力、文化力を生かした地域活動や文化・芸術振興の推進
仕事と家庭生活の調和に加え、地域活動等に参加し、また、文化・芸術に触れることなどにより、誰もが生きがいと充実感を持って、心豊かな人生を送ることができるよう、各ライフステージに応じてこれらの機会の創出・提供や啓発を行います。

【主な取組】

- ・ 京都ならではの伝統文化教育など、「ほんもの」の文化・芸術に触れる機会の創出
- ・ 子育て支援施設における文化芸術・社会体験事業の実施
- ・ 若者の市政や地域コミュニティへの参加機会の提供

(2) 柔軟で多様な働き方の実現に向けた取組支援

「職場」、「家庭」、「地域や社会」、それぞれの場において、「働き方改革」を「自分ごと」「みんなごと」として実践するため、先進事例の収集などによる情報発信の充実に取り組むとともに、教育・保育現場においても率先した取組を進めます。

【主な取組】

- (・ 京都はぐくみ・働き方改革推進宣言の普及啓発)
- ・ 「働き方改革」に取り組む企業等の先進事例の収集及び波及・浸透
- ・ 子育て支援施設の働き方改革の推進
- ・ 地域・保護者と共に進める、学校・幼稚園の働き方改革の推進
- ・ 「真のワーク・ライフ・バランス」実践のための情報発信の充実